

丸協にゅーす

- 丸協トピック
『第3回関西物流展』出展いたしました！
- 今、知っておきたい物流topics
『“丸投げ”されていますか？』



丸協運輸は 第3回関西物流展に出展いたしました！

6月22～24日インテックス大阪にて開催された 第3回関西物流展に出展致しました。全体(3日間合計)の来場者は22,355名と、第1、2回開催時を超える人数が来場されました。当社のブースは約150社ほどの来場者をお迎えし、物流に関するお困り事～『物流コスト上がってるが、どうにもならない?』『24年問題、どうするの?』など様々なお話を伺いました。今、お客様が抱えている課題やニーズをよく知る事ができました。今後はお客様の課題解決にお客様と共に取り組んでいきます。

来年開催の第4回関西物流展(2023年4月開催)にも出展予定です。



今回作成した当社業務内容の紹介パネル



当社からは 水口・吉川・新居・坂本(大阪)・坂本(四国)、
姫田・小枝・斉藤・内田・中窪 が対応

今、知っておきたい物流topics

“丸投げ”されていますか？

2022年6月号のロジビズは「脱・丸投げ」特集です。多くの荷主企業が物流を“丸投げ”していたことを反省し、何とかせねばと考えている、あるいは「このままでよいか考えましょう」というロジビズのメッセージです。物流危機が現実的に近づいてきたからこそこの特集といえるでしょう。

近い将来、皆さんの荷主からも「物流を持続可能にするためにどうすればよいか教えてくれ」という依頼があるかもしれません。そういう時は問題改善のチャンスです。日頃からデータを収集しておくといでしょう。荷主と共に改善に取り組むことが有効な内容としては、たとえば下記のようなものがあります。

- ① 在庫管理の不徹底による保管状態・作業効率の悪化
- ② 作業量のブレ
- ③ 荷主からの入出荷・情報伝達の遅れ

①が起きていると、出荷のない商品が長期間、倉庫内に滞留し、保管スペースの圧迫、作業効率の悪化を招きます。在庫状況をアイテム別に出荷と対比して「何日分」あるかみてみると、問題の可視化が可能です。右の表はある倉庫の実態です。明らかな過剰在庫がありますね。

②や③は残業や日常的な多めの人員確保を招きます。荷主は自社の作業や販売優先で物流量の平準化への意識が薄いことが多いのですが、コストダウン、持続可能性の点からも、平準化への意識喚起は有効です。

商品名	在庫日数	在庫cs数
ポップCあまおうココ50G	219	22
源氏パイチョコ	194	194
ボスカフェ贅沢カフェオレ	157	57
ハウス きざみ青じそ	140	32
クラシエ はちみつれもん	136	11
減塩ハッピーターン 95G	105	178
グリコ ビスコ 焼きショコラ 15枚入	97	23
HWF ネルノダ粒タイプ10袋 7.2G	86	7
森永 うまいちゅうマスカット味 12ツブ	84	32
浅田飴 シュガーカットS 500G	78	5
ミツカン ㄨキムチ鍋つゆST 750G	75	38